

# ファックス送信状

送信枚数 枚（本状を含みます）

2019年6月3日（月）

各位

日本共産党  
国會議員団中国ブロック事務所  
所長・武田英夫  
〒703-8288 岡山市中区赤坂本町1-31  
TEL (086) 273-7747  
FAX (086) 272-7108

昨年の豪雨災害の高梁川水系での要因と指摘されている「新成羽川ダムの事前放流」問題が、動き始めています。

発電用のダムの事前放流の検討は、全国で初めてです。

関係自治体の首長の努力とあわせて、国会での仁比質問、岡山県議団、高梁川流域の党議員団の論戦、などで大きな一歩を踏み出しています。

その関係の記事を添付しています。

以上

## ダム事前放流検討表明 仁比氏に国答弁 岡山・新成羽川

昨年7月の西日本豪雨で高梁川（たかはしがわ）や小田川が決壊する要因となった岡山県高梁市の新成羽川（しんなりわがわ）ダムをめぐり、国と地元自治体、中国電力などでつくる減災対策協議会が豪雨を見越して水位を下げておく事前放流の実現性を議論し、早ければ今年の梅雨から実行する方向であることが分かりました。4月22日の参院決算委員会で、日本共産党の仁比聰平議員に対し、国土交通省が明らかにしました。

新成羽川ダムは高梁川上流にある中電の水力発電ダム。昨年の豪雨で異常放流され、高梁川の急激な増水、小田川への大量逆流（バックウォーター）や決壊を招きました。発電用ダムでは、治水目的でないことを理由に事前放流が行われず、各地で洪水の一因となっています。

国交省の塚原浩一水管管理・国土保全局長は、「中電が社内検討会で事前放流の実現性を検討している。協議会でも議論し、可能なら梅雨から実行に移すと聞いている」と述べました。

仁比氏は、同協議会について「豪雨災害を受け、ダム管理者である中電を構成員に加え、河川の国直轄・県管理の区別なく一緒に対策を練る、わが国で初めての試みだ」と強調。塚原局長はその意義を認めました。（しんぶん赤旗 2019年4月24日）

## 大雨時に事前放流

岡山新淀川ダム中国書が方針  
に上氏の要文を  
雨年7月の西日本豪  
の豪雨で岡山県倉敷市  
の豪雨地区などに豪  
刻豪雨警報が出でて

とを交り、中国書は

このほど、豪雨洪水系

にある岡山県内最大の

新成河川ダム貯水率

まで大雨を想定す

位を下げる事前放

流をする旨を示すこ

とを示す。豪雨警報

未田正彦、田

口明子の両議員は、

右部議員衆議院議員

氏の松井信久さんを呼

んで豪雨警報発表の

担当官に話を取

た。(アンケートで)

放流を容認する予定

などとし、木田市議は

放水を命がけます

とした旨でも述べま

たと述べました。

豪雨警報が放流

時は誰が判断するの

事作選に意見して

中国書が行う」と答

えました。豪雨警報は

フタの豪雨警報管

は医療があり、河川

豪雨をじつかり行わな

ければならないが、放

流を開始しようとす

べました。中国書はスムーズの

豪雨警報が「0」と

示されたと想定される

豪雨警報を実施する計

画。豪雨警報を実施され

ば、高梁川の水位は終

信印地区に近い倉敷市

警報で約1メートル

下がる」と記載していま

す。

た。(5月26日「おけ」)

## 豪雨放流の岡山・広島・鳥根共産党議員

後、とりわけ高橋吉隆  
書生の行政責任は量

仁比・武田氏同席

昨年7月の西日本豪雨

で被災した岡山・広島・鳥

根県議・市町の日本共産

党議員らが毎日、国省内

で被災者支援や河川整

備、ダムの在り方等につ

いて政府交渉しました。

仁田豊平、武田良介参

院議員が同意しました。

豪雨放流

要く

事前放流

分かりやす

く

情報

ダム

政府に

ダム

は20日に、今年の梅雨からと梅雨つりました。

う豪雨放流で豪雨の予報、国土交通省の担当者は

を交えて前もって水位を、ダムにも限界があると

下げておくことを実施。いつのが教訓だいかに

すること決めました。壁難に詰め付けるか、情

右部議員・岡山県高梁市議会議員の在り方の改善に

議は事前放流で水位が取り組んでくる」と答えた

10時20分下かる。1時間ました。

ほど決算が進行、過疎の多田伸介・鳥根県議は、江の川上流にあ

時間かかる。ダムの放流は、江の川上流にあ

（5月31日「おけ」）